

思いやりと優しさのある、良質で安全な医療を提供いたします。

HOKUTO TIMES

医療法人北斗会 大洲中央病院広報誌「ホクトタイムス」

No.

41

2015/1



謹 賀 新 年

本年も大洲中央病院を
どうぞよろしくお願いします。

医療法人北斗会 大洲中央病院 理事長 病院長 大久保 啓二



新年あけましておめでとうございます。

早いもので、病院グランドオープンから1年が過ぎました。ご意見箱を見ますと、この1年間皆様からおしかりの言葉と同時に、多くの励ましのお言葉もいただきました。昨年初頃は、新しい病院の明るさ・清潔面あるいは改善された療養環境に対してのお言葉が多かったように思います。しかし、途中からはスタッフに対しての労いやお礼の言葉をいただくことも多くなったように感じています。病院や設備が新しくなり、環境は確かに改善されています。そしてこの1年間、職員全員に共通する目標は、新しい病院に見合うだけの、また負けないだけの中身を充実さ

せていこうという点にありました。この職員の熱い思いが、皆様方に少しでも伝わるよう日々努めて参る所存です。

大洲・喜多地域の医療問題は、地域の高齢化・人口減少に比例するように、人手不足・スタッフの高齢化が進んでいます。そのような中、昨年10月地元出身の整形外科医沖永昌弘先生が着任されました。若い先生が加わることで、スタッフの中でも新しい活力が出てきているように思います。今年も、医師・看護師など新しい人たちに来ていただける病院になれるよう努力して参りますので、引き続きご協力とご指導の程宜しくお願い申し上げます。



大洲中央病院では、
ICT(感染制御チーム)を中心に、
感染防止対策に積極的に取り組んでいます。

Zoom Up!
Oozuchuo Hospital

病院
案内

【感染制御チーム(ICT)】

院内感染防止対策への取り組み — 感染制御チーム(ICT)の活動を通して —

毎年、冬になり気温が低くなると、ノロウイルスに代表される各種感染性胃腸炎、インフルエンザが流行します。その他にも、最近ではさまざまな感染症が問題となっており、一年を通して感染症に注意が必要になってきました。特に病院は、さまざまな疾患を持った方が入院されており、高齢や他の疾患により、身体の抵抗力が低下している方も多く、家庭などの一般環境に比べて、感染症が集団発生する可能性が高い場所であると言えます。

当院では、これら感染症の発症を防止するために、院内感染防止対策委員会を設置しています。この委員会は、病院長を始め各部門の責任者で構成され、院内感染予防対策の策定と推進を目的に、毎月1回開催されています。そして、ここで定められた予防対策の具体的実行、安全確保の推進のために、下部組織として感染制御チーム(ICT)が活動しています。

ICTとは？

ICT(感染制御チーム)とは、インフェクション・コントロール・チーム(Infection Control Team)の略称で、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師などで構成され、院内で起こるさまざまな感染症から患者さん・ご家族、職員の安全を守るために活動しています。その業務は、定期的な院内ラウンド、院内感染発生状況の把握と感染情報の共有、抗菌薬の適性使用の調査、感染防止対策に関する研



修など多岐に渡ります。

各職種が専門性を活かして活動しています

< 医師 >

ICTのリーダーとして活動しています。患者さんや職員を感染から守り、感染制御に関する専門的知識を基に、効果的な対策を実践するために、各メンバーへの指導を行なっています。

< 看護師 >

患者さんに直接関わるが多いため、現場における効果的な感染対策の実施・教育を行なっています。また、自部署における感染症の発生状況を把握し、感染症発生時には、適切な感染対策が行なわれているか確認をします。

< 臨床検査技師 >

院内の感染症や薬剤耐性菌(薬に対して抵抗力を持ち、薬が効きにくくなった菌)の情報を集積し、情報を発信しています。また、院内感染の徴候

の監視を行い、検査結果から集団感染の可能性をいち早く察知・報告することも重要な役割です。
＜薬剤師＞

薬剤耐性菌の発現を防止するため、抗菌薬や消毒薬の適正使用の確認や助言を行っています。また、新規抗菌薬に関する情報提供も行ないます。



週1回の院内ラウンドを行い 感染防止に努めています

毎週金曜日30分程度で、病棟や外来、リハビリ、手術室などを順番にラウンドし、月1回は病院全体を見て回ります。現場を直接見ることは、感染対策の現状を把握し、改善を行なうために非常に有効です。ラウンドでは、手洗いなど標準予防策が確実に実施できているか、流しなどの水周りは清潔か、注射針などの医療廃棄物が適切に廃棄されているか、療養環境は清掃が行き届いているかなど、細かいところまでチェックします。その結果は、直接現場の責任者に返し、問題と思われる箇所に

ついては指導を行い、次のラウンドで改善状況を確認します。直接現場に行く事で、逆に疑問や困っていることについて質問されることもあり、その時はチームメンバー各々の専門的知識からアドバイスをしています。また、内容が病院全体の問題となりそうな場合は、院内感染防止対策委員会で取り上げ、協議することもあります。



手洗いは最も重要な感染防止対策です

感染防止対策としてもっとも重要なのが、“手洗い”をきちんとすることです。風邪やインフルエンザなど、病気を引き起こす感染症の多くは、“手”を介して体内に侵入するといわれています。定期的なラウンドで実施状況を確認する以外にも、院内研修会を開催し、医療者による感染拡大が起こらないよう手洗いの徹底に努めています。特に感染症の流行時期には、患者さん・ご家族にもポスター等で協力をお願いしています。



大学病院と連携し、近隣の病院とも感染 防止対策について情報共有しています

今年度からは、愛媛大学医学部附属病院と連携を取り、年に4回近隣の病院も含めた感染防止対策カンファレンスに参加しています。このカンファレンスでは、各病院のICTメンバーが出席し、針刺し・切創件数、各種抗菌薬の使用状況、血流感染に関する各病院の現状を報告すると共に、県内における感染症の流行に関する情報や、各病院の感染防止対策の現状について情報交換を行なっています。これらの情報を基に、当院における感染対策を見直し、改善に繋げています。

院内感染について、医師・看護師はもとより全ての医療従事者が正しい知識を持ち、それぞれの医療の現場で最善を尽くすことは、感染の危険性の無い安全な医療を患者さんに提供することに繋がります。当院は、これからICTを中心に職員一丸となって、感染対策に努めていきます。

からだに効く
レシピ
2

Point!
マヨネーズが苦手な方は、
ポン酢でもOK!
付け合わせは
緑や赤色の野菜で
春の雰囲気に出し

大洲中央病院栄養科

さっぱりといただく、これからの季節にぴったりの一品です。
お試し下さいませ。

コールドサーモン

■材料(2人分)

- 紅鮭(切り身)……2切れ120g
- 人参……………40g
- トマト……………60g
- キャベツ……………60g
- ブロッコリー……………40g
- マヨネーズ(カロリー半分タイプ)……………大2・1/2(30g)
- A 〇穀物酢……………小1弱(4g)

■作り方

- ①鮭は、蒸し器に入れて15分程度蒸す。
- ②人参は、拍子切り・キャベツは5ミリほどの千切りにして茹でる。ブロッコリーは、食べやすい大きさに切って、塩茹でしておく。トマトは、湯むきしてくし形に切る。
- ③Aの調味料を混ぜておく。
- ④お皿に人参とキャベツ・トマトとブロッコリーを添え、鮭を盛り③をかける。



すぐそばにある絵画 院内美術館 11



舍利弗

阿那律

『釈迦十大弟子二菩薩(舍利弗、阿那律)』
棟方志功 作

“世界のムナカタ”と ならしめた全12点の大作

今回より全6回に分けてご紹介するのは、1Fエレベーター横にある版画です。全12点からなるこの『釈迦十大弟子二菩薩』は、棟方志功の代表作であり、二菩薩と、釈迦の10人の高弟の姿を彫っている。棟方の真骨頂である、白と黒の絶対的対比からなる力強い版画を、ぜひ一度ご覧ください。



棟方志功(むなかたしこう)ノ1903年
青森県生まれ。ノ
1956年 ヴェネツィア
ア・ビエンナーレ国際
版画大賞受賞

次号は棟方志功
『釈迦十大弟子二菩薩(全十二点)』より
「迦旃延、優婆塞」をご紹介します。

健康講座

参加自由
入場無料

- 会場 大洲中央病院 1階 多目的ホール(売店横)
※場所を変更する場合があります
- 時間 午後2:00～3:00

【開講予定】

- ◎1月29日(木)
『メタボリックシンドロームについて』……………内科医師
『生活習慣病に関連した検査について』……………検査科
- ◎2月26日(木)
『健康寿命を延ばそう!～運動のススメ～』……………リハビリテーション科
『レントゲン検査で分かること』……………放射線科
- ◎3月19日(木)
『栄養バランスの良い治療食の体験
～試食してみませんか? おいしい病院食～』……………栄養科

日本医療マネジメント学会 愛媛県支部学術集会で発表

11月9日に愛媛大学医学部附属病院40周年記念講堂において、日本医療マネジメント学会愛媛県支部学術集會が開催されました。当院は、この学会に毎年参加しており、昨年発表した本館4階病棟の「障害者施設等一般病棟における1日3回の口腔ケア定着に向けての取り組み」では奨励賞を受賞しました。今年は薬剤科より「薬剤科による持参薬管理への取り組み」について発表させて頂きました。入院される患者さんは持参薬を持たれている事が多く、薬剤科では、服用されていた薬剤情報を収集し、医師への提示、その後の内服薬の管理に関わらせて頂いています。持参薬の管理はとても複雑ですが、患者さん入院中も安心して薬剤を服用して頂けるよう今後も努力していきたいと思ひます。



薬剤師 灘部 晴美

世界糖尿病デー 記念イベントに参加しました



11月14日は、「世界糖尿病デー」です。この日は、インスリンを発見したバンディング博士の誕生日であり、毎年各地で糖尿病の予防と治療に対する啓発活動が行われています。その活動の一つとして、建造物をシンボルカラーの青色に照らすイベント「ブルーライトアップ」が今年も大洲城で行われ、今年度は当院が準備を担当しました。寒い中での準備・回収は大変でしたが、夜空に青く浮かび上がった大洲城は、いつもと違う趣がありました。

また、関連イベントとして、11月9日には八幡浜・大洲糖尿病チーム医療研究会が企画し、福祉センターで健康相談会を行いました。多くの方にご参加頂き、この場を借りてお礼申し上げます。

地域医療連携室 菊池 早希子

社員旅行に参加しました

1泊2日の社員旅行に参加しました。2日間天候にも恵まれ、1日目(大阪)のUSJでは、多くのアトラクションに挑戦したり、大声で笑ったりと子供のように大はしゃぎし、楽しい時間を過ごすことができました。2日目(兵庫)は、神戸の異人館通りを散歩し、外国の方々に会ったり異国の文化や歴史に触れたり、良い体験をする事が出来ました。姫路城は改築されてはいましたが大きく迫力があり、流石の世界文化遺産に感動しました。

また、普段関わることの少ない部署の方々と交流する事が出来嬉しく思いました。

また機会があれば参加したいです。



調理師 岡山 啓子

外来診療医師一覧表

診療科目	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
内科	1 診 池本 純※	休診日	休診日	大久保啓二※	大久保啓二※	大久保啓二※	大久保啓二※
	2 診 山上 隆司			山上 隆司	池本 純※	池本 純※	山上 隆司
	3 診 井上 明子			井上 明子	近藤 誠司	山上隆司(第1・3・5)	近藤 誠司
	4 診			近藤 誠司		近藤誠司(第2・4)	
外科	1 診 森岡 徹	休診日	休診日	森岡 徹	森岡 徹		池本 純(第1・3・5)
	2 診 満谷 臨			満谷 臨			小島直彦(第2・4)
	3 診				武内 成禮	武内 成禮	森岡 徹
整形外科	1 診 栗田 英明			冲永 昌弘	栗田 英明	冲永 昌弘	栗田 英明
	2 診						冲永 昌弘
泌尿器科	清水 公治			清水 公治	清水 公治	清水 公治	清水 公治
脳神経外科	1 診(新患) 西原 潤			西原 潤	重川 誠二	岩田 真治	重川 誠二
	2 診(再診) 重川 誠二			重川 誠二	西原 潤	瀨野 利太(隔週)	西原 潤

受付時間 午前8時00分～午前11時30分

診療開始時間 午前9時00分～ 担当医師は緊急手術などで変更する場合がありますので、事前にお問い合わせください。(休診になる場合もあります) ※は、予約診療になっています。

休診日(2～4月) 救急診療のみ……………3月21日(土)

休診日……………火曜、水曜

お見舞い面会時間 午後1時00分～午後9時00分

◎ 喜多地区の一週間の救急当番

- 金～日曜日…大洲中央病院
- 月曜日…市立大洲病院
- 火曜日…市立大洲病院
- 水曜日…加戸病院
- 木曜日…大洲記念病院(昼)、市立八幡浜病院(夜)

編集後記

明けましておめでとうございます。病院のグランドオープンから早1年が経ち、多くの方から機能面での高評価をいただくことができました。2年目を迎え、今年は病院の内面が問われる年だと思っております。今後も皆さまに選ばれる病院として、より良い医療が提供できるよう職員一同自己研鑽に努めて参りますので、よろしくお願い致します。

発行/医療法人 北斗会 大洲中央病院

編集/広報委員会

寺尾 光司(事務部長・理事) /
京河 雅史(放射線科) / 伊場 紀子(看護副部長) /
伊達 明日香(看護部) / 山下 恵里(看護部) /
福田 修治(リハビリテーション科) /
大西 修平(リハビリテーション科) /
松本 奈緒(総務課) / 谷本 志津(医事課) /
二宮 祐希(栄養科)